

第30回与謝野町地域公共交通会議 会議報告書

■日 時 令和2年6月29日（月）午後3時から4時10分まで

■場 所 岩滝保健センター 1階 機能訓練室

■出席者

山添 藤真	曾川 高円	笹岡 洋一	糸井 和之	中上 敏朗
小塚 敏郎	小西 正芳	河邊 時寛	渋谷 卓司	坪倉 正明
林 忠広	嶋本 卓男	吉田 達雄	片岡 伸夫	村上 章
小池 大介	田辺 茂雄			

■代理出席者

大槻 敏行

■欠席者

阪口 孝二 井隼 雄一 中川 世士

■事務局

小谷 企財補佐 成毛 企財係長 本田 企財主事

会議の要点

- 交代された会議委員の紹介、副会長を選出。
- これまでの会議の経緯を確認。病院線および町営バスの実績報告
- 病院線および町営バスの再編案、特にルート、バス停を確認。詳細については会長、事務局に一任いただくことを承認。
- 与謝野町社会福祉協議会から令和元年度の実績報告。
- 令和元年度の200円レール利用実績、高齢者運転免許証自主返納事業、ケアハウス連携事業の利用実績について報告。

■会議内容

1. 開会

配付資料の確認、出席状況の報告

会長あいさつ（割愛）

2. 議事

(1) 副会長の選任

地域住民代表として、町営バスの主な運行地域でもある加悦地域の中上敏朗香河区長に就任いただいた。

(2) 丹海バス病院線及びコミュニティバスひまわりの再編について

- ・上限200円バス利用実績について
- ・コミュニティバスひまわり運行実績について
- ・丹海バス病院線及びコミュニティバスひまわりの再編（案）について
- ・生活交通確保維持改善計画「地域内フィーダー系統確保維持計画」について

【概要】

○資料1-1から資料1-5まで事務局から説明。まずはこれまでの検討経過から説明し、次に200円バスの実績、町営バスの実績を報告し、10月1日からの再編内容を説明した。資料1-5

については、国への提出資料のため、参考資料として配布、中身については会長ならびに事務局に一任することで承認された。

- 資料1-4について、病院線は10月1日より峰山四辻線に名称を改め、ルートは京丹後市峰山駅を起点とし、与謝野町の四辻を終点とする。その際、岩屋地域には乗り入れしない。
- 病院線以外にも、与謝線は北部医療センターからの帰りの便の待ち時間を減らすため、平日3便、土日祝日2便を増便、また、野田川丹海前へ全便乗り入れとする。峰山線は朝の時間帯に乗車ができない学生を乗せるよう1便新たに運行することで再編を行うことを説明。
- 町営バスについては岩屋線のルート案、またバス停配置案を説明。岩屋から幾地、四辻を抜け、三河内から加悦谷ショッピングプラザまでとし、新規バス停候補カ所を説明し、詳細な場所については、事務局へ一任してもらうことで承認された。
- 既存の奥滝線、加悦奥・石川線についてもフリー乗降区間の廃止に伴う区間内へ新設、また交差点内に設置された危険バス停の解消のため移設をすることで、ルート案を作成。加悦奥・石川線については、さらに病院線の再編に伴い、石川から野田川丹海前、R178号線を通るよう延長する案を提案。以上、2路線のルート案についても承認された。

委員：事務局から説明をしていただいたが、前回の会議からの変更点として幹線である病院線についてルートは変更ないが、峰山四辻線として新たに運行したいということ。これにより与謝野町内の岩屋地区が乗り入れせず空白地域となるため、カバーするため町営バスを運行する。中身の違いとして、週2回運行するという説明をしていたが、今回、週3日に変更し提案をさせていただく。地域の交通手段を確保する中で、毎日運行とまではいかないが、できるだけ利便性を確保するためにも週3日運行としたいことをご理解いただきたい。

会長：先ほど委員からも補足があったが、会長からも一つお願いとして、具体的なバス停の設置についても様々な機関と調整が必要なため、会長ならびに事務局に一任していただきたい。これらを踏まえ、委員の皆様からもご意見、ご発言をいただきたい。

事務局：曜日を増やすという説明について補足をさせていただく。週2日の際には、それぞれの路線が火・金曜日、水・土曜日の運行を行っていた。しかし、大きなスーパーが火曜日は閉まっていた、実質金曜日しか乗れないという声や土曜日は金融機関が閉まっているため実質水曜日しか乗れないという声など、利用者から不便だという声を聴いていた。前々からバス1台の運行で、運転手の数でこれ解消するには週2運行から週3運行へ変更することで対応が限界。また、バス停について、今回の再編を機会とし、いくつか新設・移設を提案しているが、フリー乗降区間が廃止され、乗れなくなったという利用者の声があり改善を図るといったもの。具体的なルートを示してはいるが、バス停の詳細についてを示し切れていない。会長からも発言があったように、様々な機関と調整が必要ですが、地域と調整した結果、おおよそこの場所で、この名称で設置するというところでお示しをさせていただいていることをご理解いただき、承認いただきたい。

委員：今回2回目の会議でなかなか理解が出来ていないところがあるが、町営バス路線は丹海バスが運行する路線でよいのか。ひまわりバスとの違いは。

会長：町営バスを3つの路線で走らせることについて、丹海バス車両を利用し、丹海バスへ運行を依頼するもの。一方で峰山四辻線については路線バスということで丹海バスに運行してもらうということ。基本的な考え方として、市町をまたぐ移動は基幹として丹海バスの路線バスでの運行いただき、町営バスは幹線ではなくよりきめ細やかな路線として運行をするといった考えを理解いただければ。

事務局：峰山四辻線については京丹後市内を走る路線でもあるので、京丹後市の地域公共交通会議でも承認をされなければならないため、明日30日に開催される京丹後市地域公共交通会議の結果により承認をされることをご承知おきください。

(2) 福祉有償運送事業の実績について

【概要】

○資料2に基づき坪倉委員から説明。

- ・この事業は病院への輸送サービスとして高齢者にとっても最後の砦となっており、運行が続いている。昨今の新型コロナウイルスの感染により事業が止まるようなことがないように今後もしっかりと感染防止策を講じながら運行したい。また、令和元年度は無事故で安全な運行ができた。今年度も引き続き無事故で安全な運行に努めていきたい。

(3) 公共交通利用促進事業の実績について（報告）

【概要】

- ・丹鉄高齢者片道 200 円レール事業について
- ・高齢者運転免許証自主返納事業について

○資料3に基づき事務局から説明。

- ▷令和元年度丹鉄高齢者片道 200 円レール実績について、累計利用実績は 29,314 人となった。単年度の利用で見ると、令和元年度は 4,006 人であり、昨年度より減少したが 4,000 人を超える好調ぶりであり、定着してきていることが分かる。引き続き利用促進を続ける。
- ▷令和年度高齢者運転免許証自主返納事業実績について、令和元年度は 115 人が利用し、昨年度の利用よりも増加し、過去最高の利用となっている。内訳では日交タクシー利用券（20,000 円分）が 71 人、丹海バス回数券（20,000 円分）の交付が 40 人とほとんどがタクシーかバスの回数券となっている。
- ▷丹海バスとクアハウス岩滝の連携事業実績について、クアハウス岩滝の改修工事があったため、年度途中で休止している。また、事業再開の時期については丹海バスとクアハウス岩滝で調整をしているところ。

(4) その他

委員：与謝線の増便の理由について詳細を教えてください。

事務局：与謝線の北部医療センターを利用され、帰る際に病院発の 11 時台を逃してしまうと、次が 15 時発で 4 時間ほど待ち時間が発生しており、利用者からもご意見をいただいている。また、夕方の高校生の通学で帰りのバスを今回の増便で少しでも待ち時間を減らせるようなダイヤを設定できるようにしたい。

委員：今回のバス路線のバス停の新設、移設に関して、国道なり府道にも関係する。手続き等について施設保全課で担当しているので、よろしくお世話になりたい。

委員：バス停について警察にもお世話になりたい。特に離合が出来ないところや設置ができないような場所は設定されていないか。交差点から離されていることをしっかりと確認してほしい。

会長：様々な機関の方々からいただいたご意見に注意し、皆様にお世話になりたい。

○近畿運輸局曾川運輸企画専門官より、地元の交通事業者の皆様には新型コロナウイルス感染症対策のガイドラインに基づき、対策にご尽力いただき深く感謝申し上げます。感染防止の取組についても、大変厳しい状況下の中で前進し続けることが大切なので地域の皆さまにもお力添えをいただきたい。本日審議頂いた地域内フィーダーの申請についても中の手続きを遅延なく進める。皆様にも公共交通の活性化について今後とも引き続きお力をお借りしたい。

○近畿運輸局上浦運輸企画官より、皆様には公共交通の活性化にご尽力いただき感謝申し上げます。何かわからないことがあれば、気軽に相談いただきたい。

○今後は京丹後市の地域公共交通会議で承認され次第、国への申請をし、10 月 1 日からの再編とさせていただきます。再編後の実績についても分析を進め、よりよい公共交通を目指す。次回会議については現在のところいつ開催予定かは申し上げられないが、確定次第ご連絡をさせていただきます。

4. 閉会